

令和元年度

# 事業報告書

この1年間、きらら3施設が頑張ったこと！

その成果と反省



社会福祉法人

県民厚生会

# 目次

1. 令和元年度事業報告 P 1 ～ P 5
2. 法人単位資金収支計算書 P 6
3. 法人単位事業活動計算書 P 7
4. 法人単位貸借対照表 P 8
5. 施設別・事業所別事業実績表 P 9 ～ P 12
6. 令和元年度法人行事日誌 P 13
7. わが事業所の取組み P 14～P 30



【富士】 P 14 ～ P 18

【藤枝】 P 19 ～ P 23

【浜松】 P 24 ～ P30

# 令和元年度事業報告

## 1. 総括の視点

令和元年度は、基本的に「平成30年度事業計画」を踏襲し、①人材確保のための環境づくり、②業務の改善・改革、③公益的取組みの推進の3点を重点課題として事業を進めてきました。

いずれの重点課題についても、「道半ば・継続中」ではありますが、施設の努力もあり法人全体としては着実に歩みを進めていると総括します。

一方、この1年間を振り返ると、一部施設（事業所）ではありますが重大な事故（コンプライアンス違反）も発生してしまいました。幸い、ご利用者への影響は最小限にとどまったものの、事故の内容は「理念」が目指すことに反するもので、厳しい反省と確実な再発防止が求められます。

この件に関し、法人は2度に渡る「コンプライアンス検証委員会」を開催し事故内容を検証、原因や課題について議論しました。そして、委員より厳しいご意見をいただきました。

事業の総括としては異例となりますが、再発防止を誓い、法人全体で今後の教訓とし次年度事業に活かしていくため、委員会での重要な指摘・意見を紹介し、総括といたします。あらためて全職員の認識の共有・意思統一を訴えます。

### ●「理念」が本当に身についているのか？

さらには7年前にすばらしい「理念」を作り、法人を挙げて「理念の実践」に取り組んできました。しかし今回の件で、委員の皆様から「単にその暗唱に留まってはいないか」「新しい入職者にもその本質・意義を伝えているのか」「とても心配」との、厳しいご指摘をいただきました。

7年が経過した今、私たちの組織実態や日々の業務が、「理念」という尺度でどうなのか、あらためての点検が求められます。そして、「道徳（理念）なき経営（事業）は犯罪である」との先人の教えに則り、「理念」に反する事実が明らかとなった場合は、全員でその撲滅に取り組みましょう

### ●チームが機能していたのか？

事故の原因（＝問題の本質）を単に「個人の責任」に留めていないか？「組織機能の問題」として考えていないのではないかとのご指摘もいただきました。

もちろん職員個々の努力は必要ですが、そこには限界があります。リスク管理や事故防止を個人の努力だけに委ねるのでは、人が変われば再発することにもなります。事故は仕事に発生します。そしてその仕事はチームで行います。

事故防止のために、チーム運営（チームワーク）を機能させることが重要であることをあらためて認識しましょう。そして日頃のチーム運営についてすべての職場で検証をお願いします。

●ものが言える職場環境があるのか？

日常的に、職員が気づいたことを率直に言える職場かどうかについても、厳しいご意見をいただきました。

「気づき」や「指摘」がリスク管理（事故防止）の第一歩です。そして、「気づいたことを言いやすい職場」とするためには、普段から職員の意見に耳を傾ける職場、さらに「良いこと」を積極的に褒め称えあう職場、とする必要があります。組織（職場）運営リーダーの責任は重大ですが、日常的にこれが実践できているのかどうか、すべての職場で再検討をしていきましょう。

最後に本件に関して第 83 回理事会（令和 2 年 3 月 31 日開催）で出されたご意見も紹介します。

——現場職員は日々大変苦勞している。したがって上からの注意喚起や研修励行を指示するだけでなく、職員が置かれている状況・環境に法人・施設として十分に目配せしてもらいたい。職員の声をよく聴いてほしい、SOSを掴んでほしい——

法人は、皆さんの先頭に立ち指導力を発揮して「県民厚生会きらら全職員が共有する使命」を果たしていくことをお約束します。職員全員が一つになってこれら組織課題に取り組んでいただくことを期待します。

2. 具体的な取組みの成果と課題

当初計画	結果と課題
<p>(1) 人材確保の取組み</p> <p>① 勤怠（給与計算・人事管理）システムを活用し、人事考課制度・キャリアパス制度の確立を目指します。</p> <p>② 国の「介護職員等特定処遇改善加算」を活用して、賃金制度の見直しに着手します。</p> <p>③ 日進月歩の介護テクノロジーの効果的な導入・活用により、職員の作業負担軽減を進めます。</p> <p>④ 業務の仕訳と役割分担による業務負担の軽減化に着手します。</p> <p>(2) 業務の改善・改革</p> <p>① 「きららイノベーション活動（＝改善活動）」を職場で開始し、サービスの質的アップや収益性の向上を目指します。</p> <p>② 「第三者評価制度」「内部統制向上支援」等の外部制度を活用します。</p>	<p>① キャリアパス制度については、共同決定委員会で意見交換を実施。常勤理事会で検討中。</p> <p>② 令和元年 10 月より、特定処遇改善加算を算定し、賃金改善を実施。介護職職務給・特定職手当、夜勤手当を改定。</p> <p>③ 藤枝で、介護記録システムと「見守り機器」を導入し運用開始。さらに効果的な活用を目指す。</p> <p>④ 本格的な取組みには至らず。</p> <p>① 法人としては着手できず。どのように進めるのか、調査・検討が必要。</p> <p>② 「第三者評価制度」は実施できず。令和 2 年度に実施を計画。「内</p>

<p><b>(3) 公益的取組みの推進</b></p> <p>① 施設毎に、地域社会への貢献活動を実践していきます。</p> <p>② チラシ・HP・地域広報等で積極的に開示していきます。</p> <p><b>(4) きらら富士の新事業研究開始</b> 新事業について、市場調査や行政ニーズなどの調査検討を開始します。</p> <p><b>(5) その他の活動計画</b></p> <p>① コンプライアンス強化のため、監事監査に加えて内部監査を継続実施します。</p> <p>② 大規模災害対策への備えをさらに進めます。</p> <p><b>(6) 事業収入の目標達成</b> 消費税引き上げ等による諸経費増加を踏まえ、利用者の増加や加算の着実な算定を通じ、全事業所で事業収入の目標達成を図ります。</p> <p><b>3. 法人としての事業計画予算（資金収支目標）</b></p> <p>(1) 法人全体で、年間 30 百万円程度の当期資金収支差額をめざします。</p> <p>(2) 現金預金残高（支払準備試算）の充実を図るため、3 年間程度で残高 300 百万円をめざします。また、将来に備えた施設整備積立資産も、26 百万円以上を目指します。なお、現実的な目標値は次の通りです。</p>	<p>部統制向上支援」は会計事務所と相談中。</p> <p>① 別冊「地域における公益的な取組を目指す活動」の通り、着実に取組みが進んでいる。</p> <p>② HP をリニューアル。各事業所の HP アップ回数も増加傾向。</p> <p>(4) 開始には至らず、次年度、調査・研究をリスタート。</p> <p>① 全事業所で実施。改善事項は「2019 年度内部監査報告書」として発行、その着実な実行が必要。トレーニーも目的をほぼ達成と評価。</p> <p>② 各施設で B C P を策定。発電機も確保し、訓練を定期実施。</p> <p>(6) 事業収入は、法人全体で目標達成（前年度比+17 百万円）。また、14 事業所中 10 事業所が収入目標を達成。</p> <p>(1) 収支目標は未達。当期収支は赤字（▲6.7 百万円）。※別紙「令和元年度資金収支実績」参照。</p> <p>(2) 現金預金残高は目標未達。残高は減少（残高 23 百万円）。※別紙「令和元年度法人単位貸借対照表」参照。</p>
--	---

#### 4. 施設事業の特徴点

事業収入は、2施設（藤枝・浜松）10事業所で目標を達成。法人全体でも目標を達成しました（101.5%）。当期収支差額は、3施設とも収入増・支出削減に取り組みましたが、最終的に▲668万円の赤字に終わりました。（前年同期比▲1,928万円）。人件費は、10月スタートの介護職員特定処遇改善、施設整備支出は、藤枝・富士の施設設備関係、浜松西館の返済金が大きく影響しています。

施設別の特徴点は以下の通りです。

##### 【富士】

##### (1) 事業実績

① 事業収入は、計画比▲263万円の未達に終わりました。3事業所が達成しましたが、HCの未達（▲531万円）をカバーできませんでした。HCは利用者ニーズはありますが、ヘルパー要員の確保が難しく、利用件数も前年に比べて減少しました。

② 当期収支差額も1,301万円の黒字は確保しましたが、計画比▲570万円の未達に終わりました。また4事業所とも計画には及びませんでした。未達の主な要因としては、収入の未達に加え、DS厨房業者の変更に伴う給食委託費の増加や厨房設備の支出増があります。

ただその反面、DSで提供する食事は、大幅な質的アップを図ることができました。食事ケアは重要なサービスですが、ご利用者からも好評を得ています。



##### (2) その他の特徴点

正職員の比率が著しく低いため（職員に対し正職員が32%）、人件費比率も72%台と低くなっています。その一方、介護事故も発生するなど、要員体制の早期確立によるケアの質的向上、リスク管理の強化等が課題となりました。また、新事業への歩みは進展が見られず、次年度の再スタート課題となります。

事業所別「年間利用者数」の推移

（単位：人・回）

富士	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	前年度比
GH	3,015	3,277	3,215	3,214	3,271	57
DS	7,344	7,764	7,375	8,183	8,301	118
HC	13,972	15,160	15,164	13,511	10,704	-2,807
CP	1,288	1,700	1,837	1,972	2,061	89

藤枝	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	前年度比
特養	25,138	25,162	25,320	25,422	25,467	45
SS	6,436	6,185	6,193	6,753	6,519	-234
DS	6,423	5,555	6,340	7,709	7,670	-39
CP	806	1,118	1,129	1,646	1,501	-145

##### 【藤枝】

##### (1) 事業実績

① 事業収入は、計画比+852万円の達成となり、4事業所中3事業所が事業収入目標を達成しました。特養は空室率の改善で収入を大きく伸ばしました（前年度比+706万円）。一方、CPは期の途中で職員の退職があり、挽回に努力したものの、▲682万円の未達に終わりました。

浜松	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	前年度比
GH	6,494	6,433	6,513	6,383	6,435	52
DS	9,668	10,840	11,749	11,147	10,751	-396
HC	13,147	15,847	14,702	15,164	13,923	-1,241
CP	2,474	3,079	3,602	3,721	3,487	-234
SS		496	5,552	6,272	6,278	6
機能DS		576	6,106	8,459	9,345	886

※CPの年間利用者数＝年間請求者数。

※HCの年間利用者数＝年間訪問利用回数。

- ② 当期収支差額は▲599万円の赤字に終わりました。前年度比で人件費支出が2,219万円増加した他、事業費の備品関係支出320万円増、施設整備関係支出520万円増が主な要因です。人件費は、産休明け復職者の配置先が検討課題です。また特養は、ICTの積極活用による人員の効率化に加え、時差勤務の要員体制の工夫等が今後の検討課題です。

(2) その他の特徴点

「介護記録システム」に続き、特養・SSで、「見守りシステム」を導入、ご利用者の安全確保と夜勤職員の負担軽減を図りました。

地域の「買い物支援」や「サロン」、さらに「カーブミラー清掃」等、公益的な取組が定着化し、自治体・自治会からも高い評価を得ています。(※別紙「公益的な取組」参照)。引き続き、着実な取組推進が期待されます。



見守りシステム「眠りスキャン」

【浜松】

(1) 事業実績

- ① 事業活動収入は、計画比+1,146万円（達成率102%）、6事業所中4事業所が達成とすばらしい結果となりました。特に機能訓練DSは達成率113%と特筆すべき結果となりました。また、未達のCPも、期中の職員退職に伴う1人当たりの件数の抑制であり、やむを得ない事情でした。
- ② 当期収支差額も3施設で唯一計画達成となりました（達成率103%）。前年度比でも1,250万円増加しました。西館返済金が前年度比1,317万円増えているため、すばらしい成果です。事業収入の増加だけでなく、職員の努力で人件費支出▲1,044万円、事務費支出▲458万円の削減が、この成果につながりました。

(2) その他の特徴点

公益的取組は、西館の地域交流室を活用した「きららカフェ」や「機能訓練」、「子ども食堂」「居酒屋きらら」、さらに「介護教室」等、多種多様な取組が行われ、地域の方々に大変喜ばれています。

順調な施設運営ですが、課題はICT活用です。「介護記録システム」の早期導入による事務負担軽減が期待されます。



5. 施設・事業からの報告

後掲「わが事業所からの取組み」を参照願います。

法人単位資金収支計算書  
(自)平成31年 4月 1日(至)令和 2年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	1,168,024,000	1,173,683,315	△ 5,659,315	
	受取利息配当金収入	1,000	2,292	△ 1,292	
	その他の収入	4,791,000	4,901,727	△ 110,727	
	事業活動収入計(1)	1,172,816,000	1,178,587,334	△ 5,771,334	
	支出				
	人件費支出	895,690,400	894,138,549	1,551,851	
	事業費支出	108,204,000	107,591,606	612,394	
	事務費支出	147,802,000	146,327,341	1,474,659	
	利用者負担軽減額	1,774,000	1,713,925	60,075	
支払利息支出	1,399,000	1,398,027	973		
その他の支出	2,343,000	2,269,168	73,832		
事業活動支出計(2)	1,157,212,400	1,153,438,616	3,773,784		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	15,603,600	25,148,718	△ 9,545,118		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	1,849,000	2,151,000	△ 302,000	
	固定資産売却収入	50,000	50,000	0	
	施設整備等収入計(4)	1,899,000	2,201,000	△ 302,000	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	17,725,000	17,724,000	1,000	
	固定資産取得支出	7,158,000	7,151,798	6,202	
ファイナンス・リース債務の返済支出	7,348,000	7,338,158	9,842		
施設整備等支出計(5)	32,231,000	32,213,956	17,044		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 30,332,000	△ 30,012,956	△ 319,044		
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)	0	0	0	
	支出				
	その他の活動による支出	1,823,000	1,816,206	6,794	
	その他の活動支出計(8)	1,823,000	1,816,206	6,794	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 1,823,000	△ 1,816,206	△ 6,794		
予備費支出(10)	2,800,000	—	2,800,000		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 19,351,400	△ 6,680,444	△ 12,670,956		
前期末支払資金残高(12)	409,898,779	409,898,779	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)	390,547,379	403,218,335	△ 12,670,956		



法人単位事業活動計算書  
(自)平成31年 4月 1日(至)令和 2年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	1,173,683,315	1,163,692,360	9,990,955
	経常経費寄附金収益		130,000	△ 130,000
	サービス活動収益計(1)	1,173,683,315	1,163,822,360	9,860,955
	費用			
	人件費	909,984,625	891,329,112	18,655,513
	事業費	107,591,606	103,049,824	4,541,782
事務費	146,631,500	145,909,901	721,599	
利用者負担軽減額	1,713,925	1,415,953	297,972	
減価償却費	77,910,409	79,691,963	△ 1,781,554	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 8,618,673	△ 8,503,047	△ 115,626	
サービス活動費用計(2)	1,235,213,392	1,212,893,706	22,319,686	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 61,530,077	△ 49,071,346	△ 12,458,731	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	2,292	2,244	48
	その他のサービス活動外収益	4,901,727	4,917,851	△ 16,124
	サービス活動外収益計(4)	4,904,019	4,920,095	△ 16,076
	費用			
	支払利息	1,684,913	1,782,494	△ 97,581
	その他のサービス活動外費用	2,269,168	2,221,176	47,992
サービス活動外費用計(5)	3,954,081	4,003,670	△ 49,589	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	949,938	916,425	33,513	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 60,580,139	△ 48,154,921	△ 12,425,218	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	2,151,000		2,151,000
	固定資産売却益	49,999	7,999	42,000
	その他の特別収益	2,611,953	661,755	1,950,198
	特別収益計(8)	4,812,952	669,754	4,143,198
	費用			
	固定資産売却損・処分損		1	△ 1
国庫補助金等特別積立金積立額	2,151,000		2,151,000	
その他の特別損失	706,854		706,854	
特別費用計(9)	2,857,854	1	2,857,853	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	1,955,098	669,753	1,285,345	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 58,625,041	△ 47,485,168	△ 11,139,873	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	△ 389,573,162	△ 340,087,994	△ 49,485,168
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	△ 448,198,203	△ 387,573,162	△ 60,625,041
	基本金取崩額(14)			
	その他の積立金取崩額(15)			
	その他の積立金積立額(16)		2,000,000	△ 2,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	△ 448,198,203	△ 389,573,162	△ 58,625,041

法人単位貸借対照表  
令和 2年 3月31日現在

(単位:円)

	資産の部			負債の部			増減
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
流動資産	417,278,508	437,738,781	△ 20,460,273	流動負債	108,292,681	121,848,038	△ 13,555,357
現金預金	220,279,192	250,204,058	△ 29,924,866	事業未払金	14,060,173	27,840,002	△ 13,779,829
事業未収金	193,892,943	186,174,695	7,718,248	1年以内返済予定設備資金借入金	17,724,000	17,724,000	0
未収金	206,316	207,252	△ 936	1年以内返済予定リース債務	9,250,728	6,192,288	3,058,440
未収補助金	396,620	95,620	301,000	1年以内支払予定長期未払金	1,325,500	1,446,000	△ 120,500
立替金	1,453,200	0	1,453,200	賞与引当金	65,932,280	68,645,748	△ 2,713,468
前払金	435,600	449,400	△ 13,800				
前払費用	614,637	607,756	6,881				
固定資産	1,311,131,028	1,359,941,733	△ 48,810,705	固定負債	381,464,701	372,087,608	9,377,093
基本財産	1,183,554,200	1,239,548,871	△ 55,994,671	設備資金借入金	278,136,000	295,860,000	△ 17,724,000
土地	213,468,582	213,468,582	0	リース債務	33,461,458	20,982,456	12,479,002
建物	970,085,618	1,026,080,289	△ 55,994,671	退職給付引当金	66,309,343	50,361,752	15,947,591
その他の固定資産	127,576,828	120,392,862	7,183,966	長期未払金	3,557,900	4,883,400	△ 1,325,500
構築物	20,324,945	24,492,067	△ 4,167,122	負債の部合計	489,757,382	493,935,646	△ 4,178,264
車輜運搬具	969,189	1,173,302	△ 204,113	純資産の部			
器具及び備品	28,447,494	31,955,495	△ 3,508,001	基本金	1,473,799,100	1,473,799,100	0
有形リース資産	36,949,738	18,997,536	17,952,202	第1号基本金	1,309,299,100	1,309,299,100	0
権利	755,355	794,929	△ 39,574	第3号基本金	164,500,000	164,500,000	0
ソフトウェア	609,127	116,100	493,027	国庫補助金等特別積立金	202,051,257	208,518,930	△ 6,467,673
無形リース資産	5,762,448	8,513,856	△ 2,751,408	その他の積立金	11,000,000	11,000,000	0
施設整備等積立資産	11,000,000	11,000,000	0	施設整備等積立金	11,000,000	11,000,000	0
差入保証金	22,240,000	22,240,000	0	次期繰越活動増減差額	△ 448,198,203	△ 389,573,162	△ 58,625,041
長期前払費用	418,532	1,009,577	△ 591,045	(うち当期活動増減差額)	△ 58,625,041	△ 47,485,168	△ 11,139,873
その他の固定資産	100,000	100,000	0	純資産の部合計	1,238,652,154	1,303,744,868	△ 65,092,714
資産の部合計	1,728,409,536	1,797,680,514	△ 69,270,978	負債及び純資産の部合計	1,728,409,536	1,797,680,514	△ 69,270,978

# 令和元年度資金収支実績表(決算数値)

(単位:千円)

富士	GH	DS	HC	CP
事業活動収入	46,100	77,200	46,800	25,200
人件費支出	33,600	48,700	36,400	22,600
事業費支出	5,200	6,400	400	300
事務費支出	5,200	15,400	2,800	2,200
その他支出	700	2,200	200	200
支出計	44,900	72,700	39,900	25,500
当期収支差額	1,200	5,100	6,900	-200
(計画値)	1,540	6,050	8,460	2,600

藤枝	特養	SS	DS	CP
事業活動収入	360,300	89,500	73,800	17,900
人件費支出	258,600	64,900	57,500	20,600
事業費支出	44,300	10,400	5,800	200
事務費支出	49,400	11,700	10,600	2,100
その他支出	9,100	1,100	1,600	300
支出計	361,000	88,700	75,700	23,400
当期収支差額	-100	1,400	-1,700	-5,500
(計画値)	2,790	8,440	3,810	20

浜松	GH	DS	HC	CP	SS	機能DS
事業活動収入	90,600	95,300	53,300	45,600	83,400	72,700
人件費支出	72,500	63,700	43,200	39,100	63,800	44,100
事業費支出	8,800	7,800	400	400	9,800	6,700
事務費支出	7,300	16,300	3,300	3,300	5,400	5,300
その他支出	600	1,400	300	100	13,300	7,700
支出計	89,400	89,300	47,200	43,100	92,500	64,000
当期収支差額	1,200	6,100	6,000	2,500	-9,100	8,600
(計画値)	540	5,680	7,160	400	690	570

浜松西館	
事業活動収入	156,100
人件費支出	107,900
事業費支出	16,500
事務費支出	10,700
その他支出	21,000
支出計	156,500
当期収支差額	-500
(計画値)	1,260

	富士	藤枝	浜松	法人本部	法人計
事業活動収入	195,400	541,700	441,200	100	1,178,500
人件費支出	141,500	401,800	326,700	23,900	894,100
事業費支出	12,400	61,000	34,100	0	107,500
事務費支出	25,800	73,900	41,200	5,300	146,300
その他支出	3,400	12,100	23,600	100	39,400
支出計	183,200	548,900	425,800	29,400	1,186,400
当期収支差額	13,000	-5,900	15,500	-29,200	-6,600
(計画値)	18,720	15,070	15,060	-33,000	15,860
※人件費比率	72.4%	74.2%	74.0%		75.9%
(計画値)	71.6%	71.2%	74.8%		75.0%

(注)

- ① その他支出は、その他の事業活動支出+施設整備等支出+その他の活動支出の計。
- ② 当期資金収支差額は、施設整備補助金等を含む。
- ③ 十万円未満切り捨てのため、合計金額の端数は相違する場合がある。

## 施設別・事業所別「収入・支出・当期収支」の推移 （直近3ヶ年）

（単位：千円）

きらら 富士	グループホーム			デイサービス			ヘルパーセンター			ケアプランセンター		
	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
事業活動 収入	46,883	45,433	46,139	68,233	74,710	77,209	57,798	52,521	46,881	23,270	25,173	25,240
事業活動 支出	40,617	42,394	44,250	68,902	68,061	70,982	47,836	43,792	39,767	19,572	20,610	25,302
当期収支 差額	6,098	2,911	1,208	-1,217	4,257	5,163	7,772	8,549	6,916	3,655	4,528	-270

きらら 藤枝	特養			ショートステイ			デイサービス			ケアプランセンター		
	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
事業活動 収入	343,919	353,329	360,396	82,728	89,642	89,562	63,737	75,789	73,883	16,763	21,596	17,929
事業活動 支出	326,554	337,613	354,107	78,992	82,275	87,230	66,836	66,390	74,365	17,867	23,733	23,162
当期収支 差額	12,766	11,790	-147	3,571	6,987	1,409	-3,281	9,116	-1,742	-1,192	-2,361	-5,509

きらら 浜松	グループホーム			デイサービス			ヘルパーセンター			ケアプランセンター		
	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
事業活動 収入	93,104	89,126	90,685	106,105	94,341	95,307	52,203	55,212	53,380	45,798	47,326	45,697
事業活動 支出	80,530	88,918	88,931	85,360	90,282	88,284	47,717	53,792	47,139	38,935	42,956	43,101
当期収支 差額	11,843	-581	1,282	16,582	3,539	6,178	4,323	1,258	6,081	6,688	4,298	2,524

きらら 浜松	ショートステイ			機能訓練デイサービス		
	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
事業活動 収入	72,003	80,685	83,415	46,012	63,723	72,726
事業活動 支出	78,100	84,528	80,496	45,155	58,334	56,964
当期収支 差額	-4,324	-8,654	-9,165	242	2,530	8,668

施設 計	富士 計			藤枝 計（法人除く）			浜松 計		
	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
事業活動 収入	196,184	197,837	195,469	507,147	540,356	541,770	415,225	430,413	441,210
事業活動 支出	176,927	174,857	180,301	490,249	510,011	538,864	375,797	418,810	404,915
当期収支 差額	16,308	20,245	13,017	11,864	25,532	-5,989	35,354	2,390	15,568

	法人本部		
	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
事業活動 収入	153	130	131
事業活動 支出	43,289	35,644	29,352
当期収支 差額	-43,776	-35,570	-29,277

	法人 計		
	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
事業活動 収入	1,118,709	1,168,742	1,178,587
事業活動 支出	1,086,262	1,139,330	1,153,438
当期収支 差額	19,750	12,599	-6,680

①千円未満切り捨て。

②当期収支差額は「施設整備収支」「その他」除く。

③端数処理で合計金額が相違する場合あり。

月	ケアプランセンター				ヘルパーセンター				デイサービス				グループホーム						
	利用者数	新規	終了	継続	利用時間	新規	終了	継続	新規	請求者数	新規	終了	継続	新規	請求者数	新規	終了	継続	
4月	120	112	93.3%	3	3,702	677	86.4%	68	2	1	35.0	29.0	82.9%	91	3	1	270	270	100.0%
5月	120	113	94.2%	3	3,729	681	93.4%	65	2	1	35.0	31.4	89.7%	89	5	6	279	279	100.0%
6月	120	115	95.8%	9	4,675	651	86.4%	65	0	0	35.0	26.5	81.3%	90	3	2	270	270	100.0%
7月	120	115	95.8%	1	3,729	712	97.7%	68	2	1	35.0	31.3	89.3%	86	0	3	279	279	100.0%
8月	120	115	95.8%	2	3,729	690	94.7%	65	0	2	35.0	27.4	78.2%	87	5	2	279	279	100.0%
9月	120	115	95.8%	5	4,675	627	82.9%	67	3	1	35.0	27.0	77.1%	82	2	2	270	269	99.6%
10月	120	112	93.3%	2	3,729	737	101.1%	67	2	0	35.0	26.4	75.4%	83	9	3	279	279	100.0%
11月	120	111	92.5%	4	4,702	769	109.8%	70	1	1	35.0	25.6	73.1%	82	0	2	270	270	100.0%
12月	120	112	93.3%	3	3,648	676	104.3%	70	0	0	35.0	26.8	76.6%	84	3	3	279	279	100.0%
1月	120	113	94.2%	3	3,646	666	102.8%	69	0	1	35.0	25.2	72.0%	83	4	5	279	279	100.0%
2月	120	110	91.7%	2	3,648	685	105.7%	70	2	0	35.0	26.4	81.1%	85	6	2	261	256	98.1%
3月	120	109	90.8%	1	3,729	730	100.1%	68	0	0	35.0	27.2	77.7%	88	2	0	279	262	93.9%
年度計	1,440	1,332	92.5%	38	28,343	8,001	99.5%	812	14	8	429.0	334.1	79.5%	1,000	42	31	3,294	3,271	99.3%
平均	175	172	98.1%	3.2	3,695	692	99.5%	87.7	1.2	0.7	35.0	27.8	79.5%	85.8	3.5	2.8	275	273	99.3%

月	ケアプランセンター				ヘルパーセンター				デイサービス				グループホーム						
	利用者数	新規	終了	継続	利用時間	新規	終了	継続	新規	請求者数	新規	終了	継続	新規	請求者数	新規	終了	継続	
4月	108	108	100.0%	4	0	650	657	101.1%	73	0	0	561	531	94.7%	66	2	2	99.4	100.0%
5月	110	110	100.0%	4	1	675	703	104.1%	77	2	3	579	570	98.4%	68	4	3	99.4	99.9%
6月	114	114	100.0%	1	4	625	637	101.9%	74	1	1	561	547	97.5%	72	4	2	99.4	100.4%
7月	114	101	88.6%	1	3	675	684	101.3%	74	3	2	579	571	98.6%	67	1	5	99.4	100.0%
8月	116	99	85.3%	1	2	675	648	96.0%	71	1	1	579	541	93.4%	64	3	2	99.4	99.8
9月	118	98	83.1%	2	2	625	628	100.5%	72	1	0	561	541	96.4%	68	4	0	99.4	99.7
10月	120	98	81.7%	2	1	675	648	96.0%	71	3	1	579	535	92.4%	70	10	5	99.4	99.9%
11月	123	97	78.9%	3	4	650	651	100.2%	73	3	1	561	550	98.0%	73	3	0	99.4	99.0%
12月	126	94	74.6%	2	13	600	606	101.0%	70	0	2	579	567	97.9%	70	5	1	99.4	99.9%
1月	129	87	67.4%	1	3	575	600	104.3%	70	3	1	579	546	94.3%	69	0	0	99.4	98.7
2月	132	86	65.1%	1	3	625	599	95.8%	69	2	1	523	515	98.5%	64	3	2	99.4	99.0%
3月	135	90	66.7%	1	1	650	609	93.7%	72	4	0	579	505	87.2%	65	4	7	99.4	99.3
年度計	1,443	1,174	81.4%	23	37	7,700	7,670	99.6%	866	23	13	6,820	6,519	95.6%	816	43	28	1192.8	1192.8
平均	156	125	80.3%	1.9	3.1	642	639	99.6%	72.2	1.8	1.1	568	546	96.6%	69.0	3.8	2.4	99.4	99.4

月	ケアプランセンター				ヘルパーセンター				デイサービス				グループホーム							
	利用者数	新規	終了	継続	利用時間	新規	終了	継続	新規	請求者数	新規	終了	継続	新規	請求者数	新規	終了	継続		
4月	230	232	100.9%	8	3	875	815	83.1%	91	11	4	43.0	37.4	87.0%	130	5	3	540	517	95.7%
5月	230	236	102.6%	4	5	945	911	96.4%	100	4	4	43.0	35.0	81.3%	124	3	3	558	524	93.9%
6月	230	231	100.4%	3	8	875	854	97.6%	104	7	2	43.0	36.2	84.2%	131	6	5	540	540	100.0%
7月	230	241	104.8%	7	5	945	962	101.8%	108	5	1	43.0	37.9	88.1%	132	2	4	558	540	96.8%
8月	230	240	104.3%	12	13	945	998	105.4%	106	7	5	43.0	35.1	81.5%	128	2	4	558	541	97.0%
9月	230	231	100.4%	2	10	875	931	106.4%	103	1	3	43.0	35.7	83.0%	124	6	4	540	540	100.0%
10月	230	228	99.1%	1	8	910	920	101.1%	101	4	4	43.0	36.1	83.8%	126	3	4	558	558	100.0%
11月	230	212	92.2%	1	8	910	926	101.8%	107	2	1	43.0	35.5	82.7%	122	1	5	540	537	99.4%
12月	230	211	91.7%	2	10	840	855	101.8%	101	1	4	43.0	34.9	81.1%	126	4	3	558	539	96.6%
1月	230	201	87.4%	7	8	840	851	101.3%	102	1	1	43.0	33.8	78.5%	117	3	3	558	530	95.0%
2月	230	204	89.1%	5	5	875	832	95.1%	97	0	1	43.0	37.4	86.9%	118	4	2	522	522	100.0%
3月	230	206	89.6%	5	8	910	898	98.7%	97	5	1	43.0	37.7	87.7%	121	5	4	558	547	98.0%
年度計	2,760	2,673	96.8%	67	91	10,745	10,751	100.1%	1,217	48	31	516	432.5	83.8%	1,499	46	44	6,588	6,435	97.7%
平均	300	281	93.9%	4.8	7.6	895	886	100.1%	101	4.0	2.6	43.0	36.0	83.8%	124.9	3.8	3.7	549	536	97.7%

訪問介護「自費サービス」実績

H30年度 (単位:円)

事業所	内容	H30年4月	H30年5月	H30年6月	H30年7月	H30年8月	H30年9月	H30年10月	H30年11月	H30年12月	H31年1月	H31年2月	H31年3月	合計
富士HC	介護保険外(介護)	8,100	6,300	19,800	4,950	27,000	22,500	29,700	29,700	103,750	78,750	41,250	96,500	468,300
富士HC	介護保険外(総合)	0	7,650	0	0	0	9,450	0	0	0	0	0	0	17,100
富士HC	通院介助(介護)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富士HC	通院介助(総合)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富士HC	交通費(ガソリン代)(介護)	7,062	8,698	9,499	16,994	8,070	7,224	6,532	4,858	6,116	4,847	5,152	5,512	90,564
富士HC	交通費(ガソリン代)(総合)	2,096	1,188	1,341	884	952	1,194	1,281	1,081	1,039	818	264	255	12,393
<b>富士HC 集計</b>		<b>17,258</b>	<b>23,836</b>	<b>30,640</b>	<b>22,828</b>	<b>36,022</b>	<b>40,368</b>	<b>37,513</b>	<b>35,639</b>	<b>110,905</b>	<b>84,415</b>	<b>46,666</b>	<b>102,267</b>	<b>588,357</b>
浜松HC	介護保険外(介護)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浜松HC	介護保険外(総合)	0	0	0	0	0	0	3,600	0	450	0	0	1,250	5,300
浜松HC	通院介助(介護)	6,750	450	0	0	0	0	0	0	0	0	7,500	0	14,700
浜松HC	通院介助(総合)	0	7,650	1,350	3,600	900	4,500	6,300	3,600	900	33,750	3,750	30,000	96,300
浜松HC	交通費(ガソリン代)(介護)	8,625	7,773	8,199	10,008	9,285	9,060	9,306	10,308	9,375	9,726	9,123	9,381	110,169
浜松HC	交通費(ガソリン代)(総合)	4,905	6,444	5,604	6,330	7,467	6,483	7,692	7,455	7,272	6,948	6,399	8,439	81,438
<b>浜松HC 集計</b>		<b>20,280</b>	<b>22,317</b>	<b>15,153</b>	<b>19,938</b>	<b>17,652</b>	<b>20,043</b>	<b>26,898</b>	<b>21,363</b>	<b>17,997</b>	<b>50,424</b>	<b>26,772</b>	<b>49,070</b>	<b>307,907</b>
<b>総計</b>		<b>37,538</b>	<b>46,153</b>	<b>45,793</b>	<b>42,766</b>	<b>53,674</b>	<b>60,411</b>	<b>64,411</b>	<b>57,002</b>	<b>128,902</b>	<b>134,839</b>	<b>73,438</b>	<b>151,337</b>	<b>896,264</b>

R1年度

事業所	内容	H31年4月	R1年5月	R1年6月	R1年7月	R1年8月	R1年9月	R1年10月	R1年11月	R1年12月	R2年1月	R2年2月	R2年3月	合計
富士HC	介護保険外(介護)	78,750	168,750	87,750	101,900	72,410	11,610	38,958	47,667	37,125	22,459	23,375	13,292	704,046
富士HC	介護保険外(総合)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富士HC	通院介助(介護)	0	0	0	0	0	40,500	0	0	0	0	0	0	40,500
富士HC	通院介助(総合)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富士HC	交通費(ガソリン代)(介護)	5,935	6,191	5,121	5,777	30,161	4,082	2,606	2,143	2,055	2,017	3,489	2,373	71,950
富士HC	交通費(ガソリン代)(総合)	782	727	1,103	356	1,180	2,039	2,332	2,630	1,588	904	1,429	1,330	16,400
<b>富士HC 集計</b>		<b>85,467</b>	<b>175,668</b>	<b>93,974</b>	<b>108,033</b>	<b>103,751</b>	<b>58,231</b>	<b>43,896</b>	<b>52,440</b>	<b>40,768</b>	<b>25,380</b>	<b>28,293</b>	<b>16,995</b>	<b>832,896</b>
浜松HC	介護保険外(介護)	6,750	0	0	10,800	6,750	12,150	11,000	20,625	15,125	17,875	9,625	2,750	113,450
浜松HC	介護保険外(総合)	0	8,100	17,550	12,150	17,550	5,400	24,750	26,125	28,875	37,125	23,375	55,000	256,000
浜松HC	通院介助(介護)	0	0	0	9,450	31,050	9,450	0	0	0	0	0	0	49,950
浜松HC	通院介助(総合)	6,750	5,400	10,800	0	20,250	13,500	0	0	0	0	0	0	56,700
浜松HC	交通費(ガソリン代)(介護)	8,610	7,759	7,454	9,809	8,631	10,306	10,922	7,720	11,713	9,969	11,578	11,210	115,681
浜松HC	交通費(ガソリン代)(総合)	7,998	9,164	7,357	8,376	7,709	5,516	5,967	4,960	4,940	3,967	4,317	3,779	74,050
<b>浜松HC 集計</b>		<b>30,108</b>	<b>30,423</b>	<b>43,161</b>	<b>50,585</b>	<b>91,940</b>	<b>56,322</b>	<b>52,639</b>	<b>59,430</b>	<b>60,653</b>	<b>68,936</b>	<b>48,895</b>	<b>72,739</b>	<b>665,831</b>
<b>総計</b>		<b>115,575</b>	<b>206,091</b>	<b>137,135</b>	<b>158,618</b>	<b>195,691</b>	<b>114,553</b>	<b>96,535</b>	<b>111,870</b>	<b>101,421</b>	<b>94,316</b>	<b>77,188</b>	<b>89,734</b>	<b>1,498,727</b>

## 令和元年度 法人行事日誌

月	主な行事	月	主な行事
4月	常勤理事会（5日）	10月	常勤理事会（4日） 第3者委員会（4日）
5月	常勤理事会（8日） 第3者委員会（8日） 監事監査（会計監査）（23日） 第78回理事会（31日）	11月	監事監査（業務監査）（6日） 常勤理事会（8日） 第2回コンプライアンス検証委員会（19日） 第81回理事会（29日）
6月	常勤理事会（7日） 第3回評議員会（19日） 第79回理事会（19日）	12月	常勤理事会（6日） 共同決定委員会（6日） 第2回全施設管理者会議（26日）
7月	常勤理事会（8日） 共同決定委員会（8日） 第1回全施設管理者会議（24日）	1月	常勤理事会（7日） 第82回理事会（31日）
8月	常勤理事会（5日） 第1回コンプライアンス検証委員会（9日） 第80回理事会（30日）	2月	常勤理事会（7日） 合同事務会議（18日） 第3回全施設管理者会議（26日）
9月	常勤理事会（6日）	3月	常勤理事会（6日） 第83回理事会（31日）

### 【内部監査実施日】

6月14日 富士HC	7月19日 富士DS	11月26日 藤枝特養・SS
6月20日 富士CP	9月9日 浜松DS	12月23日 浜松GH
7月2日 富士GH	9月23日 浜松CP	1月27日 藤枝CP
7月12日 藤枝DS	10月18日 浜松HC	1月28日 浜松SS
	10月24日 浜松機能DS	

## 7. わが事業所の取組み

【きらら富士】

### きらら富士「わが事業所の取組み」

今年度、事業収入は達成した事業所でヘルパーセンターの未達を補うことができませんでした。昨年はヘルパー職員の確保が難しく依頼があっても受けられなかったことが一番の要因です。

しかし、達成できた3事業所もヘルパーセンターも少ない職員数の中で、よく頑張ったと思います。次年度は、職員数を増やし目標を達成できるよう努力していきます。

また、事業所同士の連携が不十分なため、情報共有ができておらず、事業所で起きた問題に対して施設全体で解決することに時間がかかってしまいました。

事故の再発防止や他事業所の問題にも他人事とは思わず、全体で取り組めるよう協力体制の強化に努めたいと思います。

施設長



### 全体研修

「虐待防止の認識向上」  
「認知症の理解」  
「認知症の適切な介護技術」  
をテーマに改めて学びました





# 笑顔満載



洗濯、食器拭き、花の水やり、モップ掛け…  
毎日の日課です



令和元年9月 ホーム長が交代となり新体制で再スタート。新しい職員3名も加わりました。これまでの伝統を大切にしつつ、新しいことにもチャレンジし より良いホームを目指します。



令和元年度は空所を32日（入退去9日、入院22日、外泊1日）に抑えることができました。また、職員の時間外労働もほとんどなかったことが事業目標達成につながったと思います。



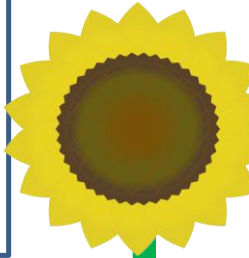
月に2、3回のきららメニューの日季節に合わせて献立を考えます。毎回、大好評です。



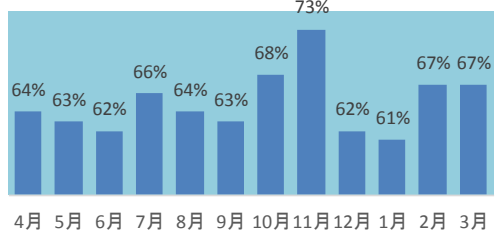
# きらら富士デイサービスセンター事業報告

## 《事業概況》

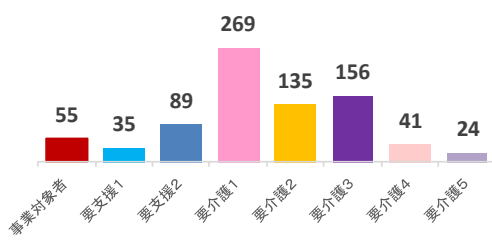
- ・定員数 35名
- ・年間稼働率 65%
- ・年間延利用者数 8331名
- ・年間平均介護度 1.7
- ・1日平均利用者数 27名



月間稼働率



介護度別利用者数



さつまい芋の苗を植え、10月に収穫し、美味しい食事としてご昼食に召し上がっていただきました。畑では、ご利用者様に教えて頂くことも多く、会話も増えました。



## 行事

5月

## サービス向上

4月

ご利用者様を無事に送迎するため、ドライバーから安全運転講習を受け、またご利用者様の希望に添えるよう送迎時間を配慮しました。



6月

いきいきサロンに行き、デスタッフが手軽な体操をご紹介したり、地域の方々との情報共有の場となりました。

7月

8月

## 地域貢献活動

9月



10月

## 業務改善

12月

パンフレットをリニューアルしたり、ホームページの更新に努め、営業活動に力を入れました。新規の依頼を受けました。



季節に合わせて、岩本山に歩行訓練に行き、気分転換を図り、歩行の安定強化に努めました。

## 機能訓練



1月

2月

3月

# きらら富士ヘルパーセンター

## 事業所目標

## 共に進む自立支援

令和元年9月！！  
センター長が交代し  
新しい職員1名を迎え新たな体制  
でスタートした1年でした。

＜ヘルパーさんが来てくれて助かるよ＞  
その一言の為に今日も全力で  
頑張ります。

今年度はヘルパー1人1人のスキルアップ  
のための希望に副った個別研修に力を入れて  
できました。

こんな研修行いました☆

- ・高齢者に多い疾病と対応
- ・らくらくトランス
- ・時短料理
- ・コミュニケーション技術
- ・認知症の理解
- ・オムツ研修
- ・AEDの使用法等

これからもご利用者の声  
にしっかり耳を傾け真心ある  
対応を心掛けながら活気  
あるヘルパーセンターを目標  
指します。



令和元年利用者アンケートも  
1つ1つの意見にできる限り対  
応させていただきました。

# きらら富士ケアプランセンター

きらら富士ケアプランセンター

今年度は新しい職員も加わり5名で支援をしています。  
地域の会議やイベントにも、積極的に顔を出し、関係作りに取り組んできました。

今後もご利用者から信頼して頂けるケアプランセンターを目指して  
実ね 皆で協力して取り組んでいきたいと思ひます。



2019年度事業所目標  
『一期一会』でした。

2020年度は  
『誠心誠意』です。



定例会での勉強会



小学校認知症サポーター養成講座



サロン訪問



## きらら藤枝 施設全体 「我が事業所の取り組み」

**令和元年度、3事業所が事業収入に関しては目標を達成する事ができました。**

目標を達成することは、単に、利用者獲得のために営業するだけでは数字は伸びません。事業所間の情報共有や連携はもちろん、職員間の連携、利用者様が何を求めているかを常に考え業務改善に取り組むことにより、数字に表れたのだと確信しています。今年度ケアプランセンターは、職員の異動や退職を伴い達成することはできませんでしたが、次年度に期待したいと思います。

施設全体では、委員会発信で働きやすい職場づくりに取り組んできました。職員同士がお互いを思いやる心を持つことで、利用者様へのやさしい対応に波及しています。引き続き、この気持ちを忘れずに次年度も頑張してほしいと思います。

施設長として藤枝の職員とともに過ごした6年間は、一緒に成長できた大切な時間でした。異動後も施設は違いますが、同じ法人職員として共に理念に恥じないよう頑張っていきましょう。

施設長 望月 忍



きらら祭り



きららサロン



介護予防体操教室



事務職員



令和元年度キラキラ輝く笑顔!!  
きらら藤枝 特養



令和元年度は、収入目標は達成しましたが支出が増え、事業目標を達成する事が出来ませんでした。空き日数を少なくし、稼働を順調に推移できるよう、支出を減らせるよう取り組んでいきます。

きらら藤枝が開設して13年が経ち、その頃からの方はだいぶ減り、入居者の高齢化と重度化が進んでいます。平均介護度は4.1となり、日々学ばせて頂く事も増えています。残念ながら最後に立ち会わせていただく事も増え、職員一人ひとりが成長させてもらっています。入居者の人生に寄り添わせていただき、自分自身のケアを見つめ直す事で、職員同士の輪がより強いものとなっています。

毎月色々な行事やイベントを企画し、楽しんで頂けるよう施設内だけでなく外出にも出かけました。入居者の笑顔は、職員の励みであり、職員自身も楽しい日々を過ごさせていただきました。

昨年度に続き施設全体で接遇に取り組んできましたが、以前に比べ入居者と職員の会話する機会が増え、職員同士が意識し合い働けるようになってきました。介護職だけでなく、多職種みんなのチームワークが良くなりました。

業務においては、昨年度取り組んだ記録の電子化に続き、日誌の電子化で記載する手間を省く事ができました。職員一人ひとりのタブレットの使用が上達し、情報共有がやり易くなりました。

また眠りSCANを導入し、入居者の眠りの状態と呼吸と心拍数を確認できるようになりました。眠りSCANは、入居者の体調を把握する事ができると分かっています。入居者の急な変化に気付き、体調を維持できるよう、更なる活用を進めていきます。そして改善を進め、業務の無駄を省けるようにします。

新型コロナウイルスの影響で面会制限をしていますが、テレビ電話を活用し会話と状態を確認してもらう機会を設けています。入居者とご家族に、安心して笑顔で利用していただけるよう、これからも色々取り入れ考えていきます。



笑顔あふれる  
居心地の良い 第2の家



作品  
おやつ  
敬老会



100歳になります。  
有難いです。  
元気です。



みんな  
笑顔

笑顔



ショートの理念を目指し新メンバーにて取り組みました。  
業務改善を始め、人員ギリギリの中でも職員は利用者様の為にと毎月4回の  
おやつレクを行ったり作品づくりを行ったりと少しでも、利用者様が楽しめて  
笑顔になってくれる様にと努力をしました。職員一人一人は大変な一年でしたが  
一つになって頑張れた令和元年度でした。



今年も、利用者さんのたくさんの笑顔に出会えた1年でした。自分たちが、この利用者さんに何が出来るかと考え、そして、地域の方には、親しみの持てる職員になろうと、職員全員が地域のサロンや催しに参加しました。その思いの陰で、急なお別れをすることも多くあった1年でもありました。それでも、ご家族様からは、感謝の言葉を多く頂き、職員が励まされ、再び頑張ろうと奮起してきました。利用者人数が後退した現在、ここでもう一度立ち上がろうと来年度職員一同頑張ります！



駄菓子屋 きらら♡



きらら藤枝  
デイサービス  
センター

利用者さんそして、  
職員が笑顔でいら  
れる毎日を。



きららで使用している防災ヘッ  
ドが、NHKの「おはようにつぼ  
ん」で紹介されました。利用者  
さんがモデルとして取材を受け  
ました。



お楽しみ個別外出







きらら藤枝ケアプランセンターは現在4名体制で業務に当たっています。  
 令和元年度はセンター長の交代があり、変化の大きい一年でした。  
 新体制となり、今までの業務を見直すところから始めました。  
 地域から信頼され、何でも相談できる開かれた事業所を目指し、  
 チームワークを深めながら取り組んでいます。



書類は誰が見ても  
 わかりやすく！を  
 心掛けています



地域サロンでは、  
 レクリエーションを  
 一緒に行いました



地域のふれあいまつりへ  
 出張アロママッサージ



## わが事業所の取り組み

きらら浜松 施設長・事務

令和元年度、施設長としての1年目は、集中豪雨に始まり、疥癬そして新型コロナウイルスと様々な対策に追われる年となりました。

それでも何か起こると、管理者同士が話し合い、協力し合い、乗り越えることができたと思います。新型コロナウイルスは、まだ終息とはいきませんが、このチームワークなら大丈夫！！

事業の活動収入としては、各事業所が努力と工夫をして、施設としての目標を達成することができました。職員の皆さん、本当にありがとうございました。

# ありがとう！

人員調整や介護の質の向上など、課題は山積みですが、これからどんなに大変な時でも、理念の実践を忘れずに取り組んでいきたいと思えます。

施設長 鈴木 薫

新体制になって1年が過ぎました。年度末にまさかの新型コロナウイルスによるパンデミックですが、「備えあれば憂いなし」を実感した年になりました。コロナ前とコロナ後で大きな変化があると思えます。変化についていける事業所でありたいと思えます。

事務



# きらら浜松デイサービスセンター

## カルチャー教室



## お楽しみ食



令和元年度は、定員待ちの曜日が出るほどたくさんの利用者様にご利用いただき、目標を達成する事ができました。

利用者様に楽しんでいただけるよう、外部講師による押し花教室や、美術館への外出レクなども企画しました。



木梨憲武展を観に浜松市美術館へ行きました！

今年度は、利用者様がデイサービスで行っていききたい事などを叶える為、個別の取り組みに力を入れていきたいと思ひます。

職員一同 **ワンチーム**で頑張ります！

# きらら浜松 グループホーム

「あたたかなグループホームを目指したい」  
ホーム長の言葉のもと、活動してきました。  
中でも、i-Padを活用して業務簡略化を図ったことで、  
職員の気持ちにも少し余裕が持てるようになり、  
私たちの目指す“笑顔あふれる日々”近づけたように思います。



親子で誕生ケーキ作り



家族会

きらら祭り



1人1人の思い  
1日1日を大切にできる温かいグループホーム



子育て支援

敬老会/なかよし子ども園



振り返ってみると、ご家族様のご支援、地域の方々のご厚意には感謝の念に堪えません。  
面会や外出、地域交流が出来ない今、この厳しい状況が続く中で  
令和2年、私たち職員ができる事、すべき事...  
新卒職員を迎え新体制で新たなグループホーム、作り上げていきたいと思ひます。

## きらら浜松ヘルパーセンター

令和元年度は今以上に質の高いサービスを提供できるように個別研修の充実を図りました。

年度初めに立てた各自の目標に合わせ個別研修も行いました。

少人数で行う研修の為、職員からも質問や意見が活発に出了ました。

それにより新しい気づきを得ることができ、少しずつケアに変化が見られるようになりました。



おむつ交換の一連の流れが  
分かりやすく良かったです。



自分で杖や歩行器を使用  
する事によって利用者様  
の気持ちが分かった。



レンジ調理の時短調理が実  
技、試食があり、とても参  
考になりました。

### 研修の感想



自分自身のやり方になっ  
てしまっていたので見直  
す事が出来ました。



活動記録の書き方で不安に思っ  
ていたことが聞けて良かった。  
自分の記録の書き方の良いと  
ころもあり、安心した。  
一緒に考えることで大切さ・難  
しさを感じ、理解することが  
できた。

# きらら浜松ショートステイ

敬老の日



難しい場面に遭遇しながらも  
職員の特技を生かし  
利用者の皆様に少しでも  
喜んでいただける様



お正月にて



真剣な眼差しで  
すごろく

創意工夫の毎日です。  
利用者様・職員共に  
きらきら輝く笑顔となる様に…



私たち機能訓練士よ！リハビメニューを色々



# きらら浜松 機能訓練デイサービス

令和元年度



明るくてきれいなフロアで

理念に沿い、今年もご利用様が元気になりたいという気持ちに寄り添い工夫をしながら機能訓練を



可愛く♡



1、2、

笑顔と元気さでがんばって

※目標達成！👏👏👏  
目標 64,140,000円→72,721,485円 113.4%↑  
月平均利用数 36.3人！（半日、一日利用合計）  
でした！



# 令和元年度 きらら浜松ケアプランセンター 活動報告

きららカフェでは

職員の手作り料理をふるまいました！！



皆さん怪我に気を付けて下さいね♡



今年も、きららカフェを通して地域の方々と交流を深められた年でした。声をかけてもらうことも多く、相談やその後のサービス利用になったケースもありました。また、西館デイの忘年会にも参加し利用者さんと一緒にイベントを楽しませて頂きました。来年度も様々な施設行事に参加したり、包括、病院とも連携をとる事で、地域の相談窓口として頑張っていくことが出来ればと思います。



勉強会では

福祉用具や訪問リハビリなど外部の事業所の協力もありました



きららまつり

盛り上がりました！！



西館デイにも  
ケアマネ出沒！？







きらら（富士・藤枝・浜松）法人	氏名	
特養・GH・DS・HC・SS・CP・事務		